

令和7年度 学力など調査の結果について

令和7年9月
杉並第二小学校
学力調査担当

1. 令和7年度 全国学力・学習状況調査（文部科学省）

対象：公立、国立、私立小学校第6学年（杉二小の受験者数100名※4名欠席）

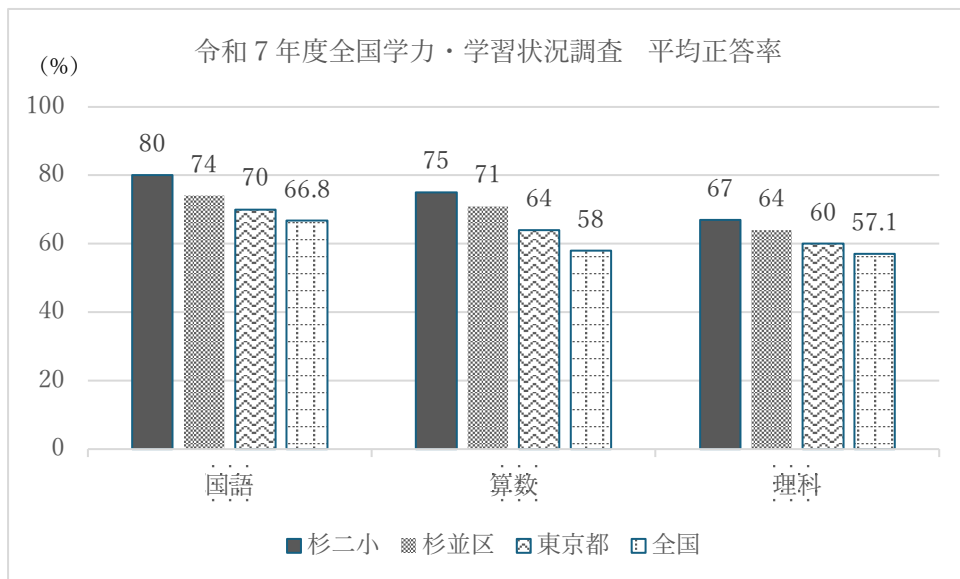
調査内容：

- ① 教科に関する調査（国語、算数、理科 冊子を用いた筆記方式）
- ② 質問調査（ICT 端末を用いたオンライン方式）

調査日：令和7年4月17日（木）

2. 教科に関する調査結果

すべての教科における平均正答率において、杉二小は杉並区、東京都、全国よりも高い数値を示しました。

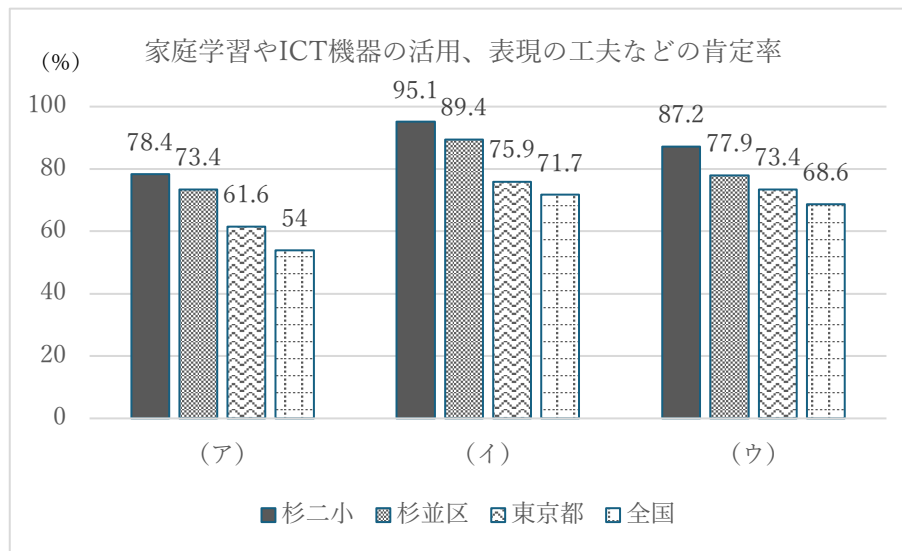


3. 質問調査に関する調査結果

家庭学習やICT機器の活用、表現の工夫などの項目が東京都や全国よりも高い数値を示しました。他者とのかわりや、自己有用感に関連する項目が、東京都や全国よりも低い数値を示しましたが、杉並区全体平均よりは僅かですが上回りました。

（1）杉二小の割合が杉並区や東京都、全国よりも高い数値を示した項目

- （ア）学校の授業時間以外、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強する。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- （イ）これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日・週3日以上使用する。
- （ウ）これまでに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

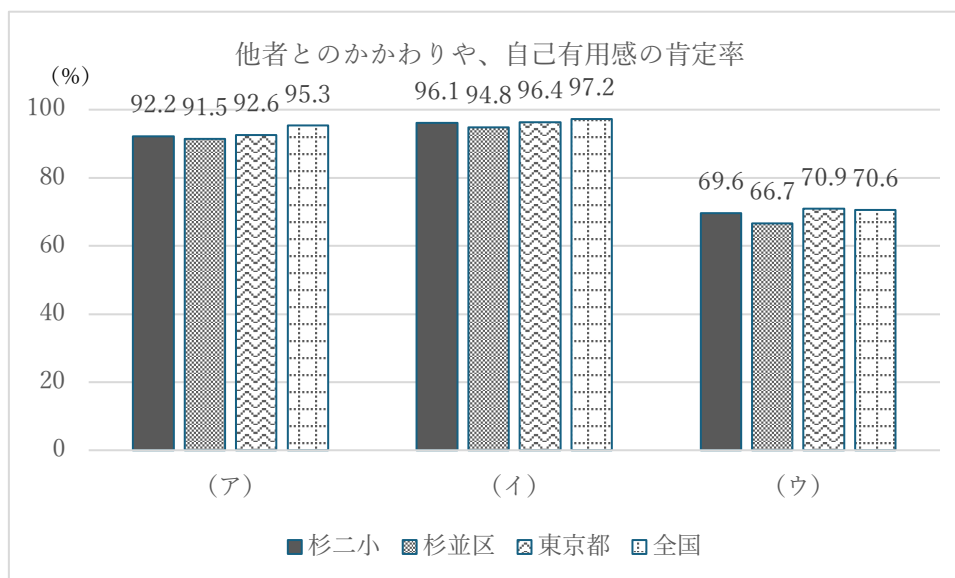


(2) 杉二小の割合が東京都や全国よりも低い数値を示した項目

(ア) 人が困っているときは、進んで助けていますか。

(イ) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

(ウ) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



4. 今後の取組

(1) 全ての教科における平均正答率が、東京都や全国、杉並区よりもいずれの教科も高い数値を示しました。これは、これまでの取り組みが一定の効果を上げていることがうかがえます。今後も引き続きICT機器の効果的な活用や、地域と連携した学び、体験活動の充実など、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組をより一層充実させ、さらに児童の資質・能力を伸ばしていきます。

(2) 質問調査に関する調査結果では、家庭学習やICT機器の活用の定着、自分の考えを表現する力の高まりがみられました。一方他者とのかかわりや、自己有用感に関連する項目に課題が見られました。今後は同学年・異学年によるボランティア活動をより活発に行ったり、日頃の教育活動や学校行事をととして児童一人ひとりが自ら考えたり、思いや考えを表現したり、判断したり行動したりして自己効力感が高められる活動を継続していきます。また、学校や教師の児童個々の違いや強み、学習プロセス等の見取りについて今後も充実させていきます。